

平成 26 年度 東京都内湾水生生物調査 4 月稚魚調査 速報

●実施状況

平成 26 年 4 月 28 日に稚魚調査を実施した。天気は晴もしくは曇りで、気温 20.2～24.7℃、南よりの風 2.2～5.2m/sec で海は静穏であった。調査当日は中潮で、干潮が 10 時 21 分、満潮は 4 時 0 分、16 時 44 分であった(東京都港湾局のデータ)。

各地点とも、例年通りマハゼやヒメハゼなどのハゼ類やボラ、スズキなどが多く採取された。

2014/4/28	城南大橋	お台場海浜公園	葛西人工渚
作業時刻	9:48-10:30	8:13-9:10	12:05-13:05
水温(℃)	19.9	17.8	19.9
塩分	24.7	25.6	17.5
透視度	95	88	43
DO(mg/L)	8.0	9.0	7.6
DO飽和度(%)	102	111	92
波浪(m)	0.1	0.0	0.2
pH	7.5	8.1	7.7
水の臭気	無臭	無臭	無臭
備考	干潟では 1 人が潮干狩りをしていて、アサリとホンビノスガイが獲れていた。	波打際では大人や子供が潮干狩りをしており、半時間で子供のバケツ半分ほどのアサリが獲れていた。	上げ潮時に実施した。干潟ではカモメ類の群が休息や採食していた。

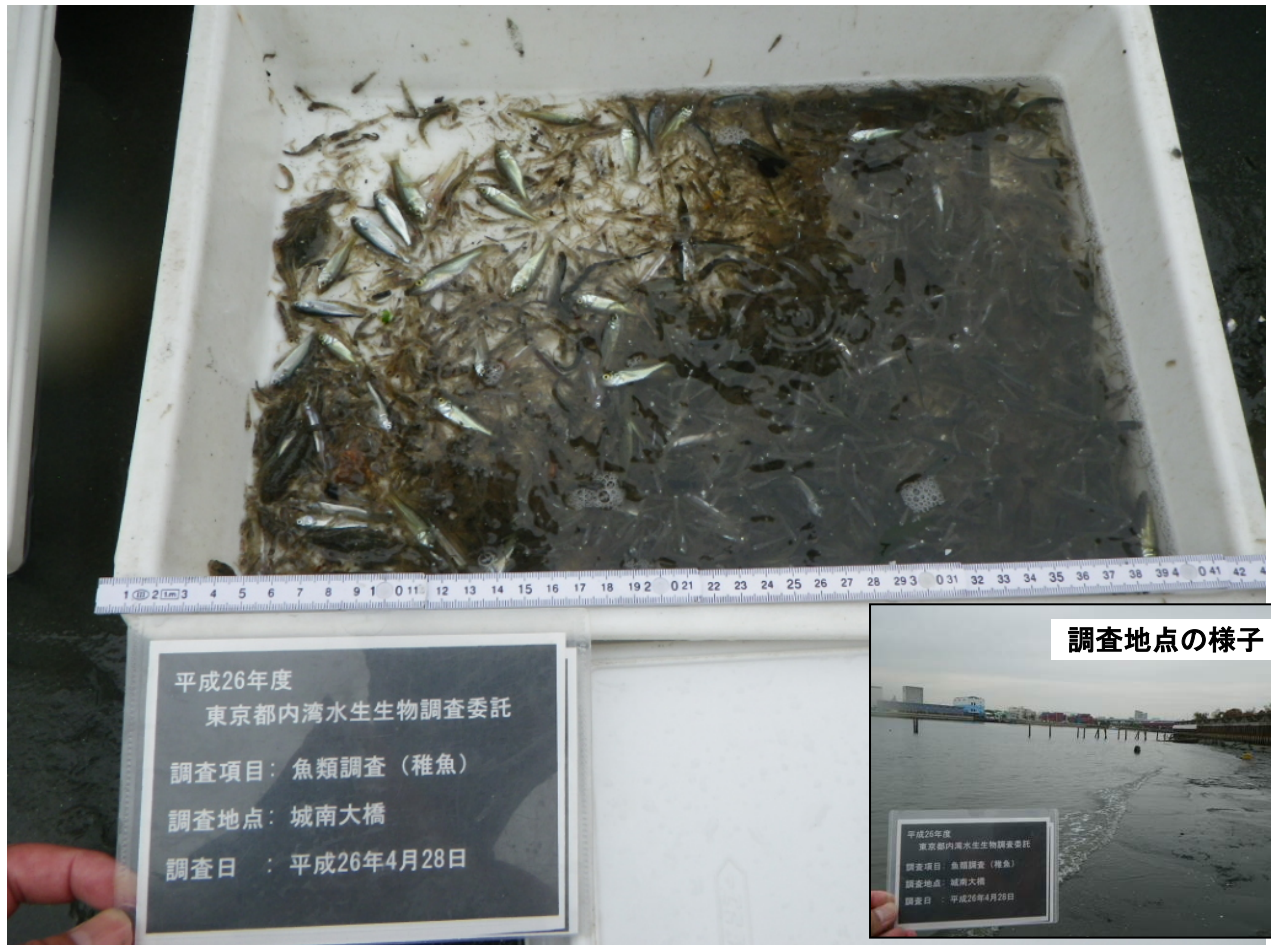
●主な出現種等 (速報のため、種名などは未確定)

主な出現種等	城南大橋	お台場海浜公園	葛西人工渚
魚種 (多い順 ^注)	マハゼ(m)	マハゼ(G)	マハゼ(m)
	ボラ(c)	スズキ(c)	ボラ(c)
	スズキ(c)	ボラ(c)	ビリンゴ(c)
	ヒメハゼ(c)	ヒメハゼ(c)	イシガレイ(+)
	アユ(c)	ウキゴリ属(c)	
魚類以外	ニホンイサザアミ(G) エビジャコ属(m)	エビジャコ属(m) ポシェットゲオヨコエビ(r)	ニホンイサザアミ(m) エビジャコ属(c)
備考	上記の他、ウキゴリ属、ビリンゴ、イシガレイ、タカノケフサイソガニ等が捕獲された。	上記の他、ビリンゴ、ニホンドロソコエビ、アラムシロガイ等が捕獲された。	小型地引網には、リター(植物の遺骸などの小片)が多く混入した。 調査を行った汀線付近の浅所は、広範囲にわたって海底上にリターが堆積していた。

注)表中の()内の記号はだまかな個体数を表す。

G:1000 個体以上、m:100～1000 個体未満、c:20～100 個体未満、+:5～20 個体未満、r:5 個体未満

城南大橋 採取試料



調査地点の様子



○体側の銀色味が強いのがボラ、緑色がかかるのがスズキである。
○多く採取されている小型のものは、ビリンゴとニホンイサザアミである。
○ニホンイサザアミなどの甲殻類は小魚の重要な餌である。



東京湾を代表する魚のひとつ。肉食性で口が大きく、横から見ると目の下付近まで達する。
干潟域では、ハゼ科稚魚や小型甲殻類を食べて急速に成長する。



東京湾を代表する魚のひとつ。
稚魚は、2～4月に干潟などの浅所に出現する。
体に鱗はなく、体側に石状の骨質板があることが名前の由来である。



川を遡上する前のアユの稚魚。干潟域には体長3～4cm になるまで滞在し、その後、河川を遡上する。
アユの稚魚は、透明感が強い。
寿命は1年である。



砂地を好むハゼ。干潟域では、春から初夏に成魚が多く出現する。写真は全長7cm程度の成魚。

お台場海浜公園 採取試料



東京湾を代表する魚のひとつ。
3～5月にかけて、体長 1.5cm ほどの稚魚が干潟域へ群れで来遊する。



マハゼに似るが、うろこがやや粗く、体側には白色の横帯がある。春に干潟域に出現し、マハゼの稚魚などを食べている。



冬から春にかけて体長 2cm 程の稚魚が群れで沿岸に来遊する。干潟域では個体数の多い種類である。



稚魚は3～5月に干潟域に出現する。成長とともに川を遡上し、河川の中流から河口域で生活する。干潟域でみられる稚魚には、ウキゴリとスミウキゴリの2種が混じっていることが多い。



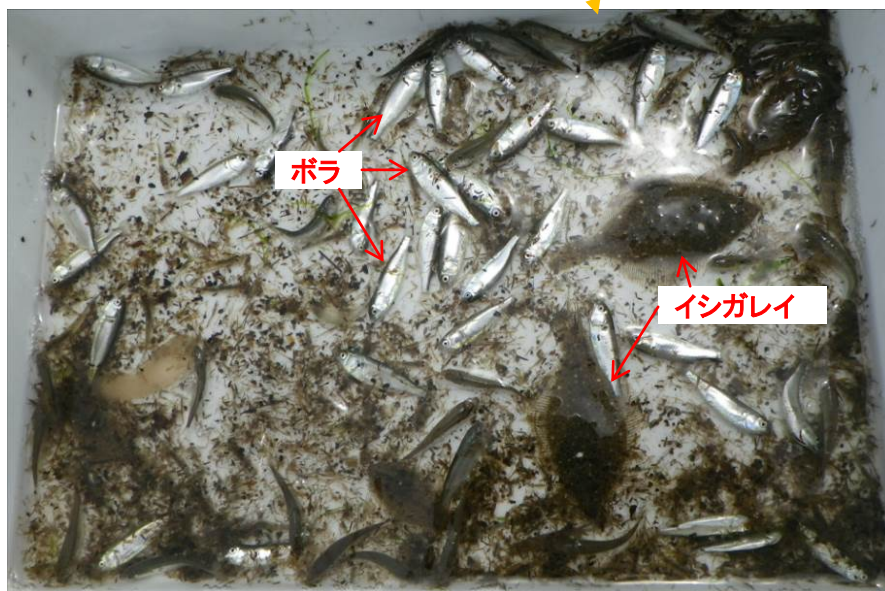
殻高 1.5cm ほどの巻貝である。殻の表面には粗い粒状突起が並ぶ。魚や貝の死骸に集まり、海の掃除屋といわれる。



内湾の砂泥底に生息し、魚類の稚魚などを捕食することが知られている。

ポシェットゲオヨコエビは、海藻などに付着していることが多い。今回の調査では、小型地曳網でアオサ属やアオノリ属などの海藻類も採集されていることから、それらに付着していたものと考えられる。

葛西人工渚 採取試料



海底上には、リター（植物の遺骸などの小片）が堆積しており、それらが大量に網に入った。南風により押し寄せられ、この場所に堆積していたものと考えられる。リターは生物生息場所や餌料として利用され、リターのある場所ではカレイ類の稚魚が多いとの報告もある。



ミズクラゲなどのクラゲ類も干潟の所々に打ち上げられていた。